

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

**集水域**  
ためる、しみこませる  
〔県、市町、企業、住民〕  
雨水貯留浸透施設の整備、  
田んぼやため池等の治水利用  
⇒**霞堤の保存、  
ため池改修**

**河川区域**  
ためる  
〔県、関西電力〕  
利水ダム等において貯留水を事前に放流し、  
水害対策に活用  
⇒**椿山ダムの事前放流**  
〔県、市町〕  
遊水地等の整備・活用  
**安全に流す**  
〔県、市町〕  
河床掘削、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備  
⇒**日高川などの治水対策、  
砂防堰堤、溪流保全、  
山腹工、溪間工 等**  
**氾濫水を減らす**〔県〕  
「粘り強い堤防」を目指した堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

**集水域  
氾濫域**  
よりリスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫  
〔県、市町、企業、住民〕  
土地利用規制、誘導、移転促進  
不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討  
⇒**宅建業法改正 水害リスク情報の重要事項説明が義務化**  
**被害範囲を減らす**〔県、市町〕  
二線堤等の整備⇒**二線堤の保護**



③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

**氾濫域**  
**土地のリスク情報の充実**〔県〕  
水災害リスク情報の空白地帯解消等  
⇒**県管理河川の全ての区間で  
浸水推定図を検討中**  
**避難態勢を強化する**〔県、市町〕  
長期予測の技術開発、  
リアルタイム浸水・決壊把握、  
防災情報の充実  
⇒**避難場所の安全レベル設定、  
防災ナビアプリの普及啓発、  
水位計・監視カメラの設置、  
タイムラインの作成、  
ハザードマップの整備**  
**経済被害の最小化**〔企業、住民〕  
工場や建築物の浸水対策、BCPの策定  
⇒**県でBCP策定ワークショップを  
開催**  
**住まい方の工夫**〔企業、住民〕  
不動産取引時の水害リスク情報提供、  
金融商品を通じた浸水対策の促進  
⇒**宅建業法改正 水害リスク情報の  
重要事項説明が義務化**  
**氾濫水を早く排除する**  
〔国、県、市町等〕  
排水門等の整備、排水強化  
**支援体制を充実する**〔国、企業〕  
官民連携によるTEC-FORCEの体制強化

※**具体事例がないところも含め今後検討を進めていく**

○日高川流域において、平成23年台風12号（紀伊半島大水害）などの既往最大規模と同規模の水災害による被害を軽減するため、流域の関係者による治水対策や流域の事前防災対策を推進する。

【位置図】



■河川における主な対策

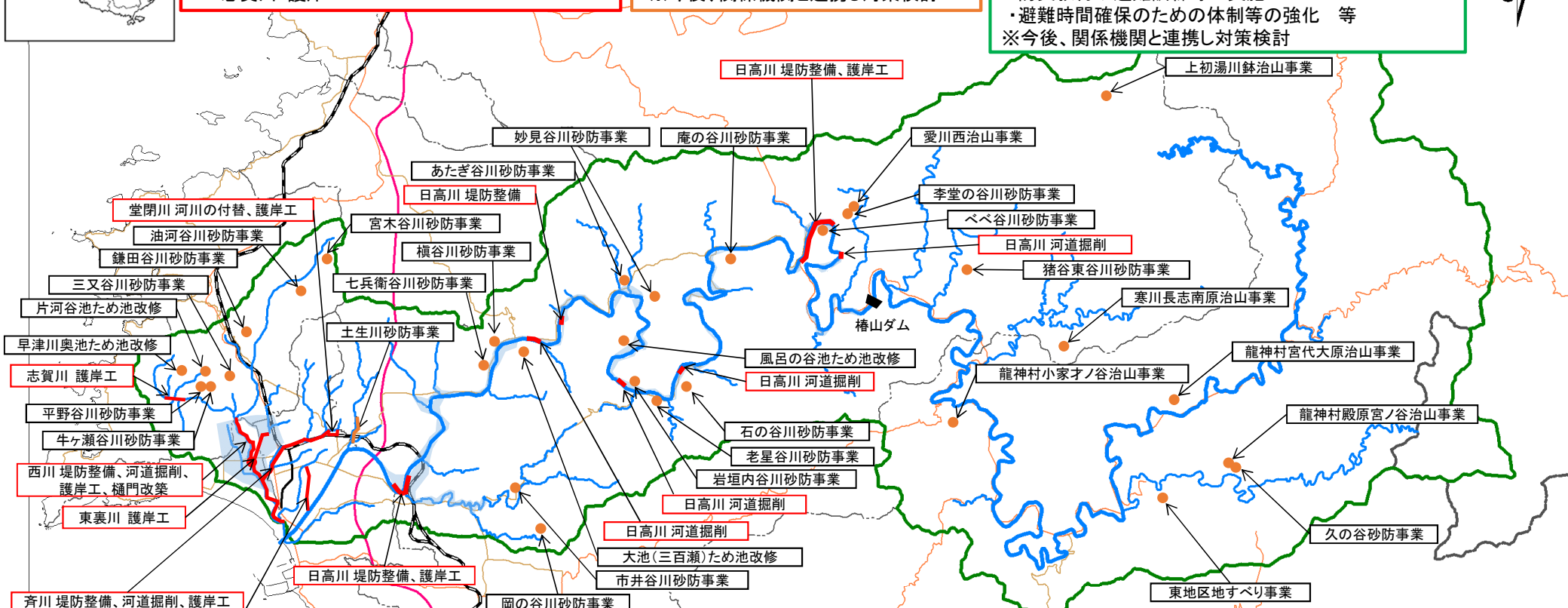
- ・日高川：堤防整備、河道掘削、護岸工
- ・西川：堤防整備、河道掘削、護岸工、樋門改築
- ・齊川：堤防整備、河道掘削、護岸工
- ・堂閉川：河川の付替、護岸工
- ・下川：放水路
- ・東裏川：護岸工
- ・志賀川：護岸工

■流域における主な対策

- ・椿山ダムにおける事前放流の実施
- ・砂防堰堤工、溪流保全工
- ・法面工
- ・山腹工
- ・溪間工
- ・ため池改修
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

■主なソフト対策

- ・水位計・監視カメラ等の設置
- ・洪水ハザードマップの作成・周知
- ・避難場所の安全レベル設定や和歌山防災ナビアプリの普及啓発等による迅速な避難行動の促進
- ・避難所の安全対策、誘導體制等の構築・強化
- ・観測・情報発信・警報設備等の構築・強化
- ・防災教育や避難訓練等の実施
- ・避難時間確保のための体制等の強化 等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討



凡例

- 流域界
- 河川における対策
- 流域における対策
- 浸水範囲 (平成23年台風12号)

